

“住んでよし、訪ねてよしの大分県”という大分流ツーリズムの理念に則り、県下各地域の魅力を磨き、結び、それに誘うため、次の事業を推進する。

## 1 ツーリズム創造・発展事業

### (1) ツーリズム企画推進事業

①各種委員会を中心に、会員相互の連携により事業企画を図るもの。

- 事業企画委員会
- 観光・ホスピタリティ推進委員会
- 広域観光委員会
- 二次交通委員会
- 情報発信委員会
- インバウンド事業委員会

②ツーリズムおおいたが事務局として協議会の運営にあたり、事業企画・推進を図るもの。

- 大分県ふるさとガイド連絡協議会
- 大分県教育旅行誘致協議会
- 大分県スポーツツーリズム推進連絡協議会

### (2) 地域ツーリズム振興事業

各地域の市町村、観光協会、観光事業者、まちづくり団体などとの連携により事業推進を図るもの。

#### ①大分県観光イメージ戦略構築事業

大分県のイメージをトータルにアピールできるものがないことから、東京芸術大学の河北秀也教授の協力を得て、大分県観光の新たなイメージ戦略を構築することをめざす。

また、昨年度は温泉をテーマにした写真画像素材を作成したことから、今年度は歴史（街並み）をテーマにした写真画像素材を作成し、マスメディアやパンフレットなどに積極的に掲載して、大分県のイメージをアピールする。

#### ②大分県ふるさとガイド育成事業

「大分県ふるさとガイド連絡協議会」では、“観光は人こそ主役”をスローガンとして交流研修会や先進地視察などを積極的に行うとともに、新たな地域資源の発掘や

ホスピタリティの醸成に努め、地域の個性を活かしたガイド活動を追求する。また、新たに取り組む「大分まちあるきプログラム」の本格稼働に向け、さまざまな商談会などを通じ、日帰りを含む主にバス旅行を取り扱うエージェントに対して積極的な活用を呼びかける。

あわせて、ふるさとガイド協議会のホームページを制作するとともに、ガイドブックのさらなる充実を図る。

### ③文化財修復現場特別公開事業

昨年度、全国でも先進的な取り組みとして高い評価を得た「文化財修復現場特別公開事業」を今年度も実施する予定。

今年度は宇佐神宮上宮内の春日神社で檜皮葺屋根の葺き替え現場を特別公開するとともに、昨年度と同様に国宝本殿の特別拝観を行う予定で、この事業を通して“温泉”や“グルメ”とともに大分県観光の強みの一つである“歴史の大分”をアピールする。

### ④広域観光推進事業

「新東九州観光圏」では、協議会メンバー及び観光圏整備事業の共同事業者などを対象としたフォーラムや関係者によるワークショップなどを開催し、圏域内の着地型旅行商品のワンストップ窓口としての機能を担う観光地域づくりプラットフォームを設立することをめざす。

「豊の国千年ロマン観光圏」では、神代から昭和までの時間旅行をテーマとして、語り部の育成や体験メニューの創出をはじめ、各地域ごとに歴史資源のブラッシュアップを行うとともに、マスメディアやエージェントへの情報発信を行う。

## (3) 都市圏観光誘客促進事業

### ①四大都市圏観光誘客促進事業

四大都市圏からの観光客の拡大を図るため、九州観光推進機構の下期・上期観光素材説明会・相談会に参加することをはじめ、地元発の旬の観光素材を盛り込んだ旅行企画提案書などを作成し、東京・名古屋・大阪・福岡のエージェントやマスメディアに対して提案を行う。

また、昨年度に引き続き、大分県教育委員会などと連携して文化財修復現場の特別公開を観光素材として活用する。

- ・観光素材・旅行企画提案書などの作成
- ・地元市町村・観光協会・観光事業者などとエージェントやマスメディアとのマッチングを目的とした商談会の開催
- ・エージェントやマスメディアの招聘

- ・エージェントやマスメディアのキャンペーンとのタイアップ

## ②福岡・広島圏域観光誘客促進事業

大分県を訪れる観光客の大多数を占める福岡圏域に対して、昨年度に引き続き「おおいた観光ツーリズム商談会 in 福岡」と「おおいた竹ものがたり in 福岡」を今年度も開催する。

あわせて、これまでアプローチが手薄であった広島圏域に対して、初の「おおいた観光ツーリズム商談会 in 広島」を開催し、重点的に福岡・広島圏域からの観光誘客を促進する。

## ③関西圏域観光誘客促進事業

九州新幹線の全線開業を契機として、関西圏域からの観光誘客を重点的に促進するため、大分県の豊かな地域資源を活用した観光キャンペーンを実施する。

大阪では、千里中央駅広場（せんちゅうパル）で「おおいた竹ものがたり in せんちゅうパル」を開催し、福岡同様、大分らしい竹を活用した総合的な観光情報を発信する。

また、エージェントとタイアップした関西圏域向け旅行商品を造成するとともに、旅行雑誌などとインターネットとの連動による観光PRを実施する。

- ・千里中央駅広場での「おおいた竹ものがたり in せんちゅうパル」の開催  
（①ステージPR②B級グルメなど実演販売③観光パンフレット配布 など）
- ・エージェントとタイアップした旅行商品の造成
- ・旅行雑誌などとインターネットとの連動による観光PRの実施
- ・県産品プレゼントキャンペーンの実施 など

## （４）大規模団体誘致受入促進事業

「大分県教育旅行誘致協議会」と「大分県スポーツツーリズム推進連絡協議会」の事務局として、各地域の市町村・観光協会・観光事業者をはじめ大分県グリーンツーリズム研究会など関係団体と連携しつつ、教育旅行やスポーツツーリズムなどの大規模団体誘致や受入体制整備に組織的・戦略的に取り組む。

また、MICE【(M) Meeting (I) Incentive (C) Convention (E) Exhibition】誘致に向けたデータベースの構築を行いつつ、その誘致や受入体制整備に取り組む。

## 2 観光情報収集・発信事業

### （１）観光情報収集事業

県内の旬の情報やご当地ならではの情報、会員を中心とした新しい取り組みに関する情報などを収集・集約するシステムの構築をめざす。

## **(2) 観光情報誌発行事業**

情報発信委員会を中心に県内季節ごとの魅力ある情報をまとめた観光情報誌「Gururitto〜ぐるり〜」を年4回発行し、県内はもとより九州内の道の駅や公共交通機関のターミナルなどで配布する。また、会員向けには2ヶ月に1回「ツーリズムおおいたNEWS」を発行し、各種事業の現況や県内の観光の動きを紹介する。

## **(3) 観光ホームページ管理事業**

大分県観光に関する総合的な情報や県内各地で開催されるイベント情報をインターネットで発信するとともに、動画やフリー素材の写真データ、各種リンクなど昨年度リニューアルしたホームページの継続的な充実を図る。

## **(4) マスメディア活用事業**

大分県観光のイメージアップを図るため、九州観光推進機構や福岡・大阪・東京の大分県事務所と連携しつつ、テレビ、雑誌、新聞などマスメディアに対して積極的に働きかけ、情報発信に努める。

また、「旅くらぶおおいた」会員に対して県内各地の観光情報を毎月メールマガジンで配信するとともに、会員を対象にしたモニターツアーを実施し、新規会員の増加を図る。

## **(5) 大分空港観光情報発信事業**

平成21年度から設置している大分空港観光案内所に引き続き職員を配置し、大分空港を利用する観光客・来県者に向けた情報発信に努める。

## **3 海外観光客誘致対策事業**

### **(1) 中国・韓国・台湾など誘客対策事業**

中国、韓国、台湾などアジア圏を中心に海外からの観光客誘致を図るため、エージェントなどに対するセールスを強化する。特に、富裕層の増加や訪日ビザの大幅な規制緩和により今後の市場拡大が想定される中国においては、大型クルーズ船の県内寄港の定期化に向けた誘致活動を行うとともに、“温泉日本一の大分県”のイメージ定着を図る。

また、国のビジット・ジャパン・キャンペーン事業や九州観光推進機構及び九州各県とも連携を図り、効果的な誘致活動を実施する。

- ・商談会や大分物産フェアにおけるセールスの強化
- ・大型クルーズ船の県内寄港定期化に向けた誘致活動の実施
- ・インターネット上での中国語温泉動画サイトの開設

- ・外国語ホームページの充実及び外国語パンフレットの作成
- ・中国や韓国のパワーブロガー招聘や県内留学生のブログ活用による情報発の実施 など

## **(2) 外国人観光客おもてなし満足度向上事業**

県内大学を卒業した留学生を「外国人観光客おもてなしアドバイザー」として雇用し、外国人観光客の受入体制整備のための相談受付や観光関係施設のサイン・パンフレットなどの翻訳支援を行うとともに、外国人観光客が多く訪れる地域を対象におもてなし講習会を実施する。

## **4 ツーリズム推進体制強化事業**

### **(1) 総会の開催**

会員の総意に基づきツーリズムおおいたの事業を推進するため、通常総会を年1回開催する。通常総会においては、前年度の事業報告や決算報告を行うとともに、新年度の事業計画案、収支予算案を諮り、その承認を求める。また、大分県のツーリズム振興に特に功績のあった団体・個人に対してその功績を称え、表彰を行う。

### **(2) 理事会の開催**

通常理事会については、年2回開催する。

### **(3) 運営会議・委員会の開催**

事業活動の円滑な運営と活性化を図るため、会長及び副会長からなる運営会議を定期的で開催する。特に、今年度においては、法改正に伴う新公益法人移行について来年度通常総会に提案すべく方向性を検討する。

また、運営会議の下に設置された事業企画委員会及び各種委員会を必要に応じて開催する。

### **(4) 運営基盤の確立**

安定した運営基盤を確立するため、新規会員の加入促進や自主事業収入の確保など運営基盤の強化を図る。

### **(5) 会員との連携強化**

大分県全体のツーリズム振興をさらに円滑に行うため、各地域の市町村・観光協会・観光事業者・まちづくり団体など会員との連携体制を強化し、情報収集及びその発信をはじめ共同での事業推進を図る。